



(淀谷真也)

高分子材料についての研究を行っています。

身の回りにあるほとんどの材料は高分子化合物で出来ています。生活を便利にする、病気で困っている人の助けになる、そのような新しい材料の開発を目指しています。

現在、うま味調味料の主成分でもあるL-アミノ酸を原料として、新しい機能を持った高分子材料の開発を目標に研究を行っています。

所属：生物応用化学科 職名：准教授 学位：博士(工学)

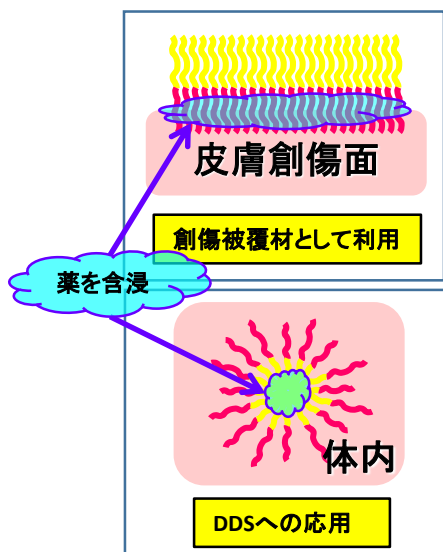
Mail: yodoya@chem.suzuka-ct.ac.jp

Web: [home page](#) [researchmap](#) [Facebook](#) [Twitter](#) [YouTube](#)



(ポリ-L-アミノ酸フィルムの合成)

(L-グルタミン酸の誘導体を原料として重合体を合成すると、タンパク質と類似した構造を持つフィルムを作製することができます)



(ポリ-L-アミノ酸ハイブリッド材料の応用)

(ポリ-L-アミノ酸共重合体は医療材料への応用が期待されます。)

研究

専門 高分子合成

研究 ポリ-L-アミノ酸の合成, 重合性官能基を有する塩基性第一級アミンの合成

Key words NCA, PBLG, ポリ-L-アミノ酸

実験装置 GPC, GC-MS, TOF-MS

論文など [researchmap](#)

教育

担当授業 化学I (有機化学) (1年), 高分子化学(4年), 機能材料工学(5年), 基礎科学実験(1年), 物理化学実験 (4年), 合成実験 (4年), 卒業研究 (5年), 特別研究 I・II (専1, 2年)

(担当授業の特色を記載)

高分子の合成法や特性を理解することは、快適な生活や環境保全を意識したものづくりには欠かせません。卒業研究では、有機合成や機器分析を利用して、今後のものづくりに役立つ知識を養って行ければと思っています。